

ニッポン全国津々浦々にある透析施設から元気な声をお届けします!

佐賀県伊万里市

幸善会前田病院

所在地 佐賀県伊万里市立花町 2742-1

開設 透析室 1989年8月 / 現腎センター 1994年2月

理事長 前田利朗

院長 前田麻木



医師 10名 (常勤3名、非常勤7名)、看護師 15名、臨床工学技士 15名、助手 5名、事務 3名。熟練スタッフの慎重さと若手スタッフのパワーを併せもつ、元気で明るい透析室です。

◆看護体制

年間受け持ち制ならびに日替わり受け持ち制。

◆穿刺順

来院時間や送迎などを考慮し、調整しています。

◆透析療法比率

HD : 98.5% (うちオーバーナイトHD : 6.5%)
PD : 0.5% PD・HD併用 : 0.5%
HHD : 0.5%

◆勉強会・研究会

長時間透析研究会、九州人工透析研究会では毎年発表しています。その他、多くの学会にも積極的に参加し、得た情報を新たな取り組みに活かしています。

◆透析クール

《月・水・金》8:30~翌7:00 (3クール)
日勤・準夜・オーバーナイト
《火・木・土》8:30~16:00 (1クール)
日勤のみ

きてみて

伊万里市へ

伊万里市は、九州佐賀県の西部に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな街です。「秘窯の里」とよばれる大川内山には、色鍋島や鍋島青磁など伝統を受け継いだ窯元が30軒ほど軒を連ね、焼き物ファンを魅了しています。また、街の随所で古伊万里の香り漂う焼き物を見ることができ、道行く人の目を楽しませてくれます。そして、食といえば伊万里牛! 上質な伊万里牛を使ったハンバーグは絶品です。伊万里へお越しの際にはぜひ一度ご賞味ください。

「秘窯の里」大川内山には静かなときが流れています。



これが自慢! 長時間透析30年。患者さんがとっても元気!

「透析とは、ゆっくりと時間をかけて行うもの。時間が短くてはよい治療は行えない」という理事長の考えの下、1989年の開設時から「全患者6時間透析」を継続して30年になります。継続年数も自慢ですが、何よりの自慢は、患者さんが元気なことです。老若男女を問わず、透析中はお隣さんとの会話に花が咲き、透析室はたいへんにぎやかです。返血後は、われ先にとスタッフより早く体重計に向かっています。また、非透析日には畑仕事や友人とのお出かけ、食事会など、スタッフも顔負けの活動量です。スタッフにとって、患者さんが元気なことがいちばんの励みです。



透析中のいちばんのお楽しみ! (食事中)

近未来目標 オールマイティーな透析治療の充実

当院には、長時間透析を求めて遠方から通院している患者さんも少なくありません。そのため、週3回の通院は、患者さんやその家族にとっても大きな負担です。オーバーナイト透析も実施していますが、通院の負担を軽減し、なおかつ患者さんが求める十分な透析治療を提供するために、在宅透析チームを立ち上げ、取り組みを開始しました。また、病棟には高齢の入院患者さんが多く、なかには動けない患者さんもいます。患者さんやその家族が周囲へ気兼ねしたり、不安を抱いたりすることなく透析治療を継続できるよう、病棟透析の準備を進めています。働き盛りの人はもちろんのこと、高齢者にも優しい治療環境の提供をスタッフ一丸となって目指しています。

イチバンさん 頼りになる臨床工学技士!

当センターのイチバンさんは、スタッフみんなから「トッチー」の愛称で慕われる臨床工学技士の都知木康行さんです。穿刺においては、患者さんからの指名も多く、指先にエコーがついているかのようにむずかしい穿刺も難なくこなします。ふだんは寡黙な都知木さんですが、スタッフのことを思いやり、業務がスムーズに行えるようにと便利なアイテムを次々に開発してくれています。とても頼りになるドラえもんのような存在です。



とってもシャイですが、頼りになる都知木さんです。